

令和6年度近畿建設リサイクル表彰

大 賞

おおばやし・おおもと・こくよ とくていけんせつきょうどうきぎょうたい さかいしふるかわげすいポンプじょうけんせつこうじ
大林・大本・国営特定建設共同企業体 堺市古川下水ポンプ場建設工事

鋼管矢板建込工法(アースドリル工法)による環境負荷低減の取組み

①鋼管矢板外周モルタルに掘削土を利用

- ・工事受注後に土壤汚染対策法に基づく土壤表層調査を実施
⇒掘削平面の9割を超える範囲で汚染土が確認され、「形質変更時要届出区域」に指定
⇒掘削土を原料としたモルタル製造プラントを現地に設置し、リサイクルを実現(処分予定土量約8,450m³削減)



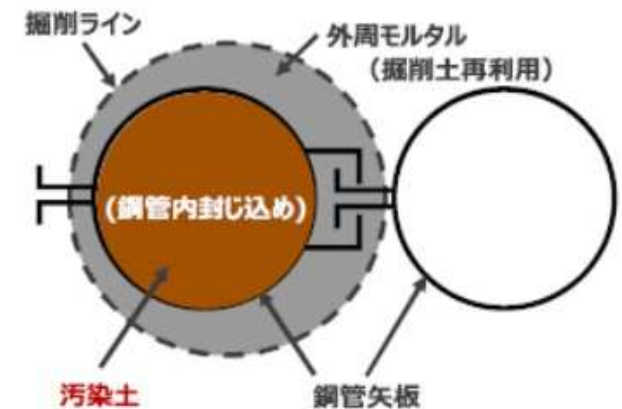
モルタル製造プラント

②鋼管矢板内部に汚染土を埋戻し(封じ込め)

- ・「土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン」の原位置封じ込めに準拠して、汚染土を封じ込め。
⇒場外処分する土量を約13,240m³削減

③掘削土を流動化処理土として利用

- ・汚染されていない一般残土を、躯体外周部の埋戻し材である流動化処理土の原材料として利用。
⇒約17,900m³の掘削土を再利用



鋼管矢板内部への封じ込め